



# 吉野作造記念館だより

2016(平成28)年度事業(2016.4~2017.3) 〈編集・発行〉特定非営利活動法人 古川学人

目次

大崎市文化財指定／韓国総領事来館……………1	28年度 NPO 法人古川学人事業……………14
29年度の行事予定……………2	ヤングジャパン応援事業……………15
新館長ご挨拶……………3	まちカル／健康増進事業……………16
28年度企画展の紹介……………4	被災地支援／キッズ教育支援事業……………17
ミニ企画展／市民交流事業……………6	東アジア交流／シティズンシップ普及事業……………21
28年度吉野作造市民大学……………8	記念館利用状況……………25
その他講座・講演会など……………10	アンケート……………26
市内小中学校への教育普及事業……………12	28年度行事・寄贈資料一覧……………27
	日本政治学会……………28

## 吉野作造記念館所蔵資料54点 大崎市文化財に指定

平成28年11月1日

吉野作造記念館で所蔵している歴史資料のうち、吉野が実際に使用した生活用品や遺品資料、また中国の政治家・思想家たちとの交流の様子を示す資料54点が、平成28年11月1日付で「吉野作造関係資料」として大崎市から文化財指定を受けました。

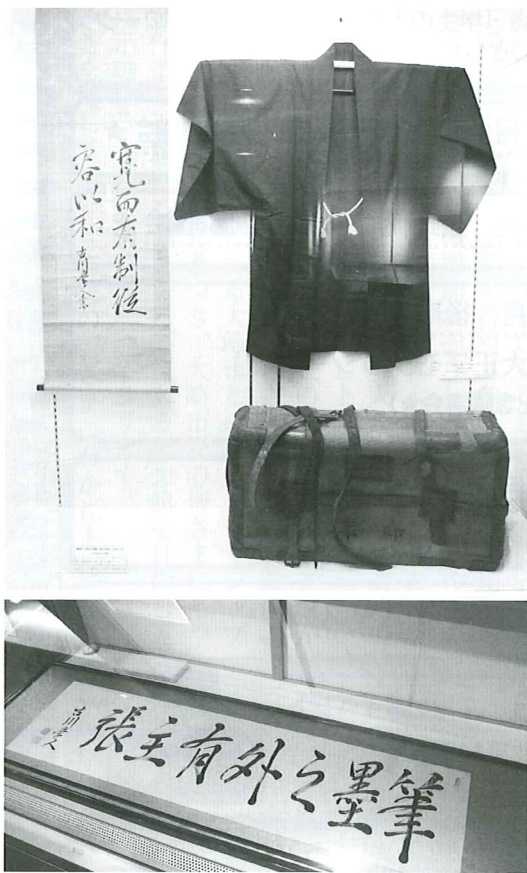
吉野が愛用していたとされる「トランク」や「着物」など生活用品や遺品類は、吉野の人となりや今日に伝えるものです。また、中国辛亥革命

当館所蔵資料中でも特に貴重かつ重要な資料として選定され、今回の指定となりました。

### 大崎市文化財指定記念展

年明けの平成29年2月1日～28日には、文化財指定を記念し、登録を受けた資料全54点を、企画展示室および常設展示室にて一挙公開しました(観覧無料)。

来場者数…757名



文化財指定記念展(平成29年2月1日～28日)

命(1911年)の立役者である孫文、黄興などから贈られた額書など、中国の政治家・思想家との交流資料は、吉野の国際的な人間関係を示すものです。以上の観点から、

### 駐仙台韓国総領事ご来館

11月10日



平成28年度後期企画展「自由を愛し、平和を貫く—吉野作造と安中教会—」において、駐仙台大韓民国総領事館(仙台市青葉区)のご後援を頂いたことを受け、企画展開催中の11月10日、梁桂和・駐仙台大韓民国総領事が吉野作造記念館に来館、常設展および企画展をご観覧されました。

同企画展は、吉野作造・柏木義円をはじめとする人々の反戦・反植民地主義の思想とその活動を紹介したもので、吉野の朝鮮独立運動への理解や支援、さらに、朝鮮の独立運動家たちを数多く弁護したことで知られる石巻市出身の弁護士・布施辰治に関する展示も行いました。

宮城県の歴史や、日韓関係史に造詣の深い梁桂和総領事は、吉野作造らの業績に強く関心を示された様子でした。

### 関連記事

- 企画展「自由を愛し、平和を貫く」 ↓ P 5
- 映画「弁護士布施辰治」 ↓ P 21

# 平成29年度の 行事案内

2017.4～2018.3

※変更となる場合もございますのでご了承ください。

## 4月15日 映画「ザ・思いやり」上映会

主催：オオサキ映画自主上映会実行委員会  
共催：NPO法人古川学人

## 6月3日・17日 郷土史講座

「伊達政宗生誕450年を記念して」(全2回)★  
講師：佐藤憲一氏(仙台市博物館元館長)

## 4月23日、10月後半(2回開催)

1から学ぶ！  
吉野作造講座★  
はじめて学ぶ方を  
対象としています。



## 7月下旬～8月上旬

夏休み自由研究サポートし隊！

## 4月29・30日

あなたを、忘れない  
—こころをむすぶコンサート  
出演 チェリスト 土田英順氏



## 9月8～10日 第11回吉野ネットワーク 交流事業人材育成研修会 ★

若手研究者・学生の人材育成と人的ネットワーク  
構築を目的とした研修会。

## 4月30日 GWイベント

楽しいコンサートや  
工作コーナー



## 10～11月 第5回吉野作造研究賞表彰式・講演会 ★

## 10～11月 読売・吉野作造賞受賞記念講演会 ★

## 5月3日 憲法講座

「日本国憲法と吉野作造—施行から70年—」★  
講師：中林暁生氏(東北大学大学院法学研究科教授)

## 10～12月 後期企画展

「庶民の大正デモクラシー(仮)」  
(10月 記念講演会★)

## 5月7日、6月4日、7月2日、9月3日

吉野作造基礎講座  
吉野作造の文章を読んでみよう (全4回)★

## 11～12月 秋期講座★

講師：後藤彰信氏

## 5月28日～8月6日 前期企画展

「子育ての昔と今」  
(5月28日記念シンポジウム★)

## 12月中旬 クリスマス会

## 1月28日 生誕記念イベント

吉野作造生誕140年  
特別事業を予定。



※★がついた行事は、市民大学の対象講座です。

## 平成29年度 友の会会員(市民大学)募集中

吉野作造記念館の活動を応援する「友の会」を  
結成し、会員を募集しております。当館の利用と  
事業への参加、会員相互の親睦を通じ、政治・社  
会・歴史に関する教養を深め、当館および地域文  
化の健全な発展に寄与することを目的としていま  
す。

なおご入会と同時に「吉野作造市民大学」入学  
となります。入会ご希望の方は当館までお申し込  
みください。

吉野作造市民大学について →P8

特典	会費3,000円	会費5,000円
1 入館料無料で常設展・企画展 を観覧できます。	○	○
2 各イベントの広報を送付します。	○	○
3 市民大学の各講座等に無料で 参加できます。	○	○
4 販売品を20%割引料金にて 購入できます。		○
5 当館研究紀要『吉野作造研 究』を送付します。		○

※ご家族の方がすでにご入会の場合は、各コース半額となります。

## 新館長就任のごあいさつ

平成28(2016)年度をもって大川真前館長が退任し、平成29年4月1日より氏家仁館長が就任しました。  
氏家新館長より皆様へご挨拶いたします。



吉野作造記念館

館長  
氏家 仁

### 氏家仁館長プロフィール

1956(昭和31)年築館町(現・栗原市)生まれ。宮城県高校社会科・公民科教諭として20年間勤務。その後県教育委員会高校教育課長、古川黎明中学・高校校長などを歴任。2016年3月、仙台第三高校校長を最後に定年退職、同4月より吉野作造記念館学校教育支援アドバイザーとして勤務。専攻は経済思想・社会思想史。吉野作造を学ぶ会事務局長。

4月1日より、大川真前館長に代わり吉野作造記念館館長に着任いたしました氏家仁です。どうぞよろしくお願いたします。

昨年2016年は、吉野作造が「民本主義」を世に問うて100年という記念すべき年であり、また18歳選挙権による初めての選挙が行われた、日本憲政史上における大きな節目の年でした。この年、私は吉野作造記念館学校教育支援アドバイザーとして奉職し、週1回のペースでの学校訪問、そして県内高等学校7校での主権者教育にあたりました。吉野作造という人物をきっかけに、高校生の主権者としての自立性・公共性を育むことを目指したものでした。

今年度は吉野作造生誕140年(2018年1月29日)を迎えます。国内外的状況を見れば、吉野作造の思想と行動が現代の私たちに示唆するものは、ますますその大きさを増しているものと思われまふ。それを現在そして未来に活かしていくことは、

私たちの大いなる課題です。今後主権者教育のような、新たな「活かし方」を提示していきたいと考えております。

2016年度、吉野作造記念館は開館以来最多となる利用者数を記録致しました。2011年の東日本大震災以降、広く人と人がつながる「シテイズンシップの拠点」として記念館の役割を位置づけ、大崎市内外のNPOなどと協力した幅広い新事業を行って参りました。利用者数の増加はそうした活動の成果の一つといえます。大崎市民の皆さまには、これまでの多大なお力添えに改めて深く感謝申し上げます。

大川前館長の遺産を引き継ぎながら、今後とも吉野作造記念館設置者である大崎市とのパートナーシップに基づき、大崎市民の皆さまにとってさらに価値ある記念館を目指し運営にあたって参ります。

市民の皆さまにおかれましては、どうぞ変わらぬご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

## NHK仙台 「ひるはぴ」にて 吉野作造を紹介!

平成28年5月10日



NHK仙台放送局制作の情報番組「ひるはぴ」(NHK総合毎週月~金11:30~12:00)の人気コーナー「みちのくヒーロー知る之助」で、吉野作造が取り上げられました。スタジオでは当館の大川真館長が出演し、日本民主主義の父ともいうべきその生涯について解説したほか、得意料理や受験対策本の出版など、知られざるエピソードを紹介しました。

28年度企画展

民本主義100周年記念

暮らしの向上を求めて

5月29日～8月7日



2016年は、戦後の生活文化を形作った雑誌『暮らしの手帖』の創刊者・大橋鎮子を主人公としたNHK朝の連続テレビ小説「とと姉ちゃん」が人気を博しました。こうして生活の文化的向上を目指す動きは、歴史的に振り返れば、吉野作造が生きた大正時代までさかのぼることができます。吉野も学者としての活躍と並行し、人びとの生活を豊かなものにするため、様々な活動に取り組みました。デモクラシーは暮らしから―大正デモクラシー運動の根源にあったのは、物心両

野の長女・信も携わった文化的な住宅の建設、家庭購買組合の活動（現在の生活協同組合運動）などです。文化生活研究会が「文化生活」のモデルを示すべく1925年に建設した御茶ノ水文化アパートメントは、日本最初の完全洋式アパートメントハウスとして知られています。大橋鎮子は戦時中、ここにオフィスを構える日本読書新聞で働いていました。「当時は考えられないほど近代的な設備が整っていた一方で、クラシックな内装はいま思い出してもほんとうに素敵

面により豊かな生活を得たいという、市民の欲求でした。本企画展は、『暮らしの手帖』のキーワード「衣・食・住」にちなんで、吉野作造が取り組んだ様々な生活改善運動を紹介しました。経済学者・森本厚吉、作家・有島武郎らと取り組んだ文化生活研究会、建築家となった吉



展示では、吉野の時代から戦後の『暮らしの手帖』誕生に至るまでの歴史をたどりました。『暮らしの手帖』に掲載された昭和30年代の古川の写真

でした」とは大橋鎮子による回想です。平和で豊かな暮らしが、デモクラシーを育んでゆく―そんな時代の空気を存分に味わっていたのが、『暮らしの手帖』をつくった花森安治、そして大橋鎮子でした。戦後の焼け野原に花開いた『暮らしの手帖』には、大正デモクラシー以来の豊かな生活を求める人びとの願いが引き継がれていたのです。

■ 共 催 ■  
みやぎ生活協同組合  
■ 後 援 ■  
大崎市  
大崎市教育委員会

基調講演は、石巻で子ども教育支援や居場所作り、子ども食堂といった先駆的な事業に取り組むNPO法人TEDIC代表理事・門馬優氏。門馬氏は、子どもたちの個々の事情に対応するには、地域の教育関係者、教育機関、行政、ボランティア、NPOな



前期企画展  
OPシンポジウム  
「地域の中で子ども  
暮らしを考える」  
5月29日

も展示され、来場者は、貧しくとも彩り豊かだった昔の暮らしを懐かしんでいました。来場者数・1612名  
関連記事  
ミニ企画展  
GWイベント  
↓P6

との複合的連携が必要であること、また個々の問題解決には時間がかかるため、その間にも大人が子どもたちを見守っていく環境作りが重要だとしました。その後、大崎市で教育支援に取り組むNPO法人Synapse40の代表理事・千葉繁美氏、大崎および沿岸部の被災地域で幅広く食生活の改善に取り組むNPO法人ハッピーート大崎の理事長・千島優子氏によるコメントがありました。その他地域の教育関係者が来場し、全体討論ではそれぞれの活動が抱える困難が語られました。容易に解決できない問題が多々あることが明らかになると同時に、様々な立場で子どもたちの教育・生活環境を改善しようと努めている人々がいることも明らかとなりました。様々な目的や志、手段を持つ団体や個人がネットワークを作り「社会を結び直す」ことが重要という認識を共有できたことがシンポジウムの成果となりました。

その後、大崎市で教育支援に取り組むNPO法人Synapse40の代表理事・千葉繁美氏、大崎および沿岸部の被災地域で幅広く食生活の改善に取り組むNPO法人ハッピーート大崎の理事長・千島優子氏によるコメントがありました。その他地域の教育関係者が来場し、全体討論ではそれぞれの活動が抱える困難が語られました。容易に解決できない問題が多々あることが明らかになると同時に、様々な立場で子どもたちの教育・生活環境を改善しようと努めている人々がいることも明らかとなりました。様々な目的や志、手段を持つ団体や個人がネットワークを作り「社会を結び直す」ことが重要という認識を共有できたことがシンポジウムの成果となりました。

関連記事  
健康増進事業  
Synapse40  
↓P18  
来場者数・30名  
↓P16

28年度企画展

民本主義100周年記念

# 自由を愛し、平和を貫く

## —吉野作造と安中教会—

10月9日～12月28日

しました。

徹底的な反戦論者として知られた柏木義円は、その論説で一貫して、最も弱い立場の人々へと目を向け続けました。とりわけ日本の植民地とされた朝鮮の人びとに思いを寄せていました。

柏木は、初めて朝鮮を訪れたときの手記の中で「朝鮮人が求めているのは、善政よりも理解ではないか」と述べています。同じく吉野も、朝鮮出身の学生たちとの交流と支援を生涯続けました。

自由と独立は国や民族を超えて、すべての人に尊重されるべきもの—吉野と柏木はこの信念から、朝鮮の独立運動では日本政府側を批判し、キリスト教会が朝鮮人への同化政策に協力した際は、両者とも強く反対しました。

吉野と柏木は、中央と地方という隔たりの中で、互いを尊敬し、協力し続けました。

大正時代、日本は大正デモクラシーの自由な風潮が広がりました。しかし一方で、日本は度重なる戦争を経て海外に植民地を広げ、人々を抑圧していました。こうした近代日本の矛盾を正面から見つめた人物が、群馬県安中市にある安中教会の牧師・柏木義円（1860～1938）です。柏木は鋭く日本の植民地支配、そして戦争を批判し続けました。

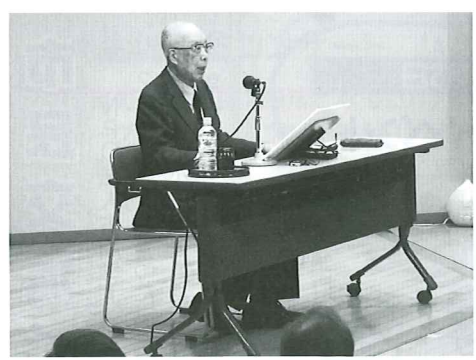


本企画展では、吉野作造と柏木たち安中教会の人びとの交流を軸に、自由と平和の思想を貫いた人々の足跡を紹介

■後援■  
大崎市  
大崎市教育委員会  
駐仙台大韓民国  
総領事館



今回、安中市にある新島学園での資料調査で、吉野が柏木に宛てた書簡2通が新たに確認されました。いずれも研究史上内容は知られていましたが、書簡そのものの現存は未確認だったものです。その内1通は、満州事変で軍部を批判した柏木に病床から賛意を送る内容で、両者の共感と信頼を示す貴重な史料です。これらの書簡のほか、柏木義円に強い影響を与えた同志社大学の創立者・新島襄の史料、安中教会の最古参の信徒であり、吉野・柏木と志を一



後期企画展記念講演  
「吉野作造先生と私」  
講師 宮田 光雄氏  
10月15日

つにして支え続けた湯浅治郎の史料など、計84点を展示しました。  
開催にあたっては、新島学園様、日本キリスト教団安中教会様、株式会社有田屋様をはじめ多くの皆様にご多大なご協力を賜りました。  
来場者数・1688名

- 関連記事
- 韓国総領事来館 ↓ P 1
- 安中教会講演会 ↓ P 10
- 映画「弁護士布施辰治」 ↓ P 21

後期企画展「自由を愛し、平和を貫く—吉野作造と安中教会—」の開催を記念し、デモクラシーとキリスト教をテーマに長年研究の第一線でご活躍された、東北大学名誉教授・宮田光雄氏をお迎えしました。氏は1970年の第5回吉野作造賞（「現代デモクラシーの思想と行動」）受賞者であり、東京大学YMC AのOBでもあります。  
講演では宮田氏が青春時代を過ごした東京大学YMC A寮での思い出や、吉野作造賞受賞にあたってのエピソードなど、数々の貴重なエピソードをユーモアを交えてお話しいただいたほか、吉野の孫弟子（宮田氏の師が堀豊彦氏）として吉野への思いと、デモクラットとしての吉野への鋭い評価をお話しいただきました。  
朗々と語られる情熱的かつ真摯な講義は大変印象深いものであり、来場者からは「吉野作造の深い人間性と、それに基づいた現代の日本に通ずる民主主義の根本精神に触れることができた」などのご感想が寄せられました。  
来場者数・79名

※宮田先生の講演録は当館紀要『吉野作造研究』13号にてご覧いただけます。

多くの皆様から好評を頂いた前期企画展「暮らしの向上を求めて」の継続企画として雑誌『暮らしの手帖』の歴史を振り返るミニ展示です。『暮らしの手帖』は戦後の日本社会で、平和で文化的な生活を求めた多くの人々から支持されました。それは大正デモクラシーの時代以来変わらない、人々の願いでもあります。展示では、戦争の暗い記憶を真正面から見つめた企画『戦争中の暮らしの記録』（1972）



**ミニ企画展**  
**「とと姉ちゃん」と『暮らしの手帖』**  
 8月23日～12月28日  
 (観覧無料)

吉野作造記念館で開催した多くの講演会・シンポジウムのアーカイブを紹介するミニ企画展です。  
 吉野作造記念館は2002年度より、NPO法人古川学人による管理運営が行われています(2002～2005年度・民間委託、2006年度～指定管理者)。古川学人では多くの新しい事業を開始しましたが、現在まで特に重点を置いているのは、市民の皆さまが幅広い分野の専門

**ミニ企画展**  
**白熱講演**  
**吉野作造記念館の講演会**  
 平成29年  
 1月8日～3月31日  
 (観覧無料)

をはじめ、「直線裁ちの洋服」「ホットケーキの作り方」「平塚らいてう登場」「商品試験」など、ドラマのストーリーに沿って『暮らしの手帖』の歴史を振り返りました。  
 来場者数・5184名  
 関連記事  
 ・企画展  
 「暮らしの向上を求めて」  
 ↓P4



的学術研究に触れられる場をつくることです。そのため、読売・吉野作造賞受賞者講演会や人材育成研修会をはじめとする事業を通し、著名な研究者を講師にお招きし、講演会やシンポジウムを定期的に開催しています。  
 本企画展では、NPO法人古川学人による管理運営になって以降にお招きした多くの講師の中から、吉野作造と同じ政治学・政治史の分野で現代を代表する研究者の方々のご講演を紹介しました。  
 来場者数・2573名

毎年恒例、吉野作造記念館のゴールデンウィークイベント。2016年は、釣って学べるふしぎなつりぼり、紙ひこうき作り、むかしのあそびなどのコーナーに加え、好きな絵を描いてオリジナルのバッグをつくるコーナー(100円)などが並びました。

研修室の「お楽しみ劇場」は、古川高校合唱部によるコンサート、バナップ先生とチャレンジ!お楽しみクイズ、文芸戦士リテラクリーガーのショーなどでにぎわいました。また、大崎市図書館の協力による絵本の読み聞かせなども行われました。

午後には「宮城県郷土かるた」大会を開催。子どもたちによる白熱のバトルが繰り広げられました。



イベントと合わせて、記念館前ではワンコインフリーマーケット(販売価格が100円か500円限定)を開催。また、NPO法人Synapse40による本・CDの交換会も開かれました。

- 来場者数 :873名
- 関連記事・Synapse40→P18

**企画展プレイベント** GWイベントでは、5月29日からの企画展「暮らしの向上を求めて」プレイベントとして、『美しい暮らしの手帖』の展示を行いました。また、NPO法人ハッピーイート大崎との協力で、「とと姉ちゃんのビスケット作り」コーナーを開催しました。

5月5日  
**GWイベント**  


**市民交流イベント**  
 NPO法人古川学人による運営となった2002年に始まった市民交流事業。普段記念館を訪れる機会の少ない方々にも足を運んで頂けるよう、家族で楽しめるイベントを開催しています。



## 12月18日 クリスマス会



2016年のクリスマス会は、吉野作造とクリスマスのエピソードを紹介するミニ展示 & クイズコーナー、リース作りコーナー（100円）、などが並びました。

研修室では、サークル「カリヨン」ボーカルとギターデュオ・ふみ & どんによるコンサートが開催され、来場者を沸かせました。

会場入り口ではサンタクロースが子どもたちを迎えました。またGWイベントに引き続き、かるた大会を開催。サンタのコールによる熱いバトルとなりました。

休憩ラウンジでは、ハッピーート大崎による、ご家庭で簡単に作れるアイデア料理を紹介する軽食・休憩コーナーが開かれました。



● 来場者数 : 470名

## ■ 即興パフォーマンス集団 ロクディム公演 【1月28日】

主 催：ロクディム大崎ライブ実行委員会  
後 援：大崎市 大崎市教育委員会  
協 力：吉野作造記念館

## 平成29年1月28日・29日 吉野作造 生誕記念イベント



吉野作造生誕記念イベントの1つとして、即興芝居・即興コメディのパフォーマンス集団・ロクディムのライブを開催しました。

ロクディムのパフォーマンスは、観客が思い思いの言葉を書いた紙をステージ上に広げ、メンバーがそのたくさんの言葉を繋ぎながら、即興で芝居を作り上げていくというものです。

予測不可能な展開の数々に、来場者からは「ここ最近で1番笑わせて頂きました」「娘が書いた紙が読まれた時には大爆笑！」などのご感想が寄せられました。

● 来場者数 : 109名

## ■ 生誕記念コンサート 【1月29日】

吉野作造生誕139年となる2017年の記念コンサートには、3グループの皆さんがご参加くださいました。

最初は、古川女声合唱団・アイリス。「シャボン玉」「青い目の人形」など、古き良き日本の名曲を中心に、素敵な歌声を響かせました。

続いて、兄弟ジャズユニット、KY。「A列車で行こう」などの名曲をピアノとサクソで奏でる、ハイテンションなライブとなりました。

最後は、加美町を中心に活動するコーラスグループ・コール・ママン。「あの鐘を鳴らすのはあなた」などの有名曲から、旧中新田町の町歌「瞳に愛を」まで、心のこもった歌声を届けてくれました。

● 来場者数 : 107名



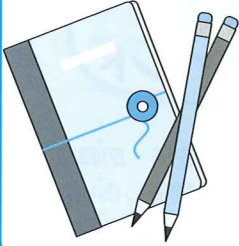
平成28(2016)年度開講

# 吉野作造市民大学講座

2016.04 ~ 12

難易度	単位	内 容	開講日	講 師	
初級	1	1 から学ぶ！吉野作造入門講座(全1回)	4月24日	小嶋 翔(当館主任研究員)	
初級	1	シンポジウム「地域の中で子どもの暮らしを考える」	5月29日	門馬 優 氏(NPO法人TEDIC代表)他	→P4
中級	2	郷土史講座「伊達政宗と大崎ゆかりの家臣たち」(全2回)	6月11日・25日	佐藤 憲一 氏(仙台市博物館元館長)	
中級	1	人材育成研修会基調講演「デモクラシーとメディア」	9月2日	猪木 武徳 氏(大阪大学名誉教授)	
中級	2	後期企画展記念講演「吉野作造先生と私」	10月15日	宮田 光雄 氏(東北大学名誉教授)	→P5
初級	1	1 から学ぶ！吉野作造入門講座(全1回)	10月16日	小嶋 翔(当館主任研究員)	
上級	2	最終講座「吉野作造の平和思想」(全1回)	11月13日	大川 真(当館館長)	
中級	1	ドキュメンタリー映画「弁護士 布施辰治」上映会	11月20日・12月4日		→P21

計11



**2016年度の概況**

- ・開講講座……8講座 (計11単位)
- ・入学者……30名
- ・単位取得……19名
- ・進級……7名

平成28(2016)年度より、吉野作造記念館友の会会員様への新たなサービスとして「吉野作造市民大学」がスタートしました。吉野作造記念館で開催される所定の講座・講演会に参加することで「単位」を取得し、進級・卒業を目指します。進級・卒業者には修了証・卒業証書を授与します。

友の会会員にはその他多くの特典があります。今後、市民大学講座の内容をますます充実させていく予定です。お申し込みをお待ちいたしております。

2年目の皆様は、今後とも進級・卒業を目指し頑張ってください。

## ◇「吉野作造市民大学」入学について

- 対 象**… 「吉野作造記念館友の会」会員の方（入会と同時に入学扱いとなります）。
- 授 業 料**… 年額3,000円 or5,000円（友の会会費として。受講回数問わず）。  
 ※ご家族の方がすでにご入会の場合は、各コース半額となります。  
 ※途中で退会される場合の返金は致しかねます。あらかじめご了承ください。
- 特 典**… 友の会会員として入館料無料、販売品の割引、広報発送など、様々な特典があります。詳しくは2ページをご覧ください。

## ◇受講について

- 申 込 み**… 講座・講演会は座席に限りがあり、また友の会会員以外の方も参加されます。受講（出席）の際は必ず各回ごとにお早めのお申し込みをお願い致します。
- 難 易 度**… 初級・中級・上級の3段階で各講座の難易度を示します。あくまで目安であり、受講制限はありません。
- 単 位**… 各講座に応じた単位が取得できます（2回講座で2単位の場合、1回出席で1単位取得となります）。  
 取得可能単位数に上限はありません。  
 ※単位取得は、入学以後の講座から可能となります。
- 欠席の場合**… 欠席された回の資料を後日お渡しします。また終了した回の映像を館内にて視聴できます。

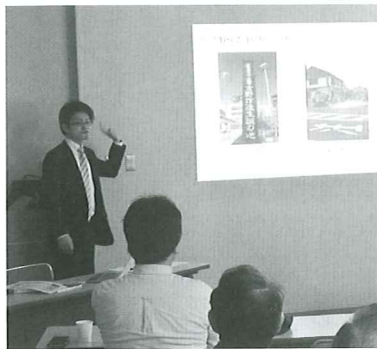
## ◇進 級

年間蓄積で6単位以上取得した場合は進級となります。最短4年（計24単位）で卒業となります。  
 ※年間で6単位以上の取得ができなかった場合、翌年度の市民大学に単位を繰り越すことができます。  
 ※吉野作造市民大学は学校教育法で定められた正規の大学ではなく、吉野作造記念館の生涯学習推進事業です。



**1から学ぶ!**  
**吉野作造入門講座**

講師：小嶋 翔 研究員  
4月24日・10月16日



吉野作造について初めて学ぶという方を対象とした入門講座です。吉野作造の業績や人物像などの基本的な知識や、当館の小嶋翔主任研究員がわかりやすく解説しました。

講座は全1回ですが、2016年度は同内容で2回開講しました。2017年度も開講予定です。

参加者数：13名（4月）  
14名（10月）

**郷土史講座**

**「伊達政宗と大崎ゆかりの家臣たち」**

講師：佐藤 憲一 氏  
6月11日・25日（全2回）

毎年大変ご好評を頂いている郷土史講座は、松山領主茂

庭家の祖・茂庭綱元、仙台藩奉行であり岩出山を知行した山岡重長という、大崎市とゆかりの深い伊達政宗の重臣2名にスポットを当てたものでした。政宗との書簡や、各家に伝来した史料を紹介しながら、両者の人物像に迫りました。2017年度も郷土史講座を予定しています。

参加者数：計63名



**人材育成研修会基調講演**  
**「デモクラシーとメディア」**

講師：猪木 武徳 氏

9月2日

人材育成研修会第10回の節目となる今回は、この研修会を第1回からコーディネートして頂いている猪木武徳先生（当館名誉顧問）に基調講演をお願いしました。講演の



テーマは「デモクラシーとメディア」大新聞の抱える問題」。民主主義社会を健全に営むために、新聞などのメディアがどのような役割を担うべきか、またその課題は何かについてお話し頂きました。

参加者数：67名

**関連記事**

人材育成研修会 ↓ P 10

**吉野作造市民大学最終講座**  
**「吉野作造の平和思想」**

講師：大川 真 館長

11月13日

吉野作造市民大学の2016年度最終講座。企画展「自由を愛し、平和を貫く―吉野作造と安中教会―」関

連企画です。歴史上繰り広げられてきた平和主義・思想を、絶対的平和主義、平和優先主義、現実主義の3つに分類し、前2者と現実主義は道徳・倫理が根本にあるか否かの点で分けられると指摘し、近代日本における絶対的平和主義の代表例として内村鑑三や柏木義円、平和優先主義の代表例として吉野作造を位置づけ、彼らの平和思想を構造的に解説しました。

参加者数：25名



**関連記事**

企画展「自由を愛し、平和を貫く」 ↓ P 5

※参加者数は一般参加者も含みます。

**平成29(2017)年度吉野作造市民大学 主な開講講座(前期予定)**

4月23日	1から学ぶ! 吉野作造入門講座	講師：小嶋 翔 (当館主任研究員)	1単位
5月3日	憲法講座「日本国憲法と吉野作造―施行から70年―」	講師：中林 暁生 氏(東北大学大学院法学研究科教授)	1単位
5月7日・6月4日 7月2日・9月3日	基礎講座―吉野作造の文章を読んでみよう (全4回)	講師：氏家 仁 (当館館長)	4単位
5月28日	前期企画展オープニングシンポジウム「これからの子育てをどのようにするのか?」		1単位
6月3日・17日	郷土史講座「伊達政宗生誕450年を記念して」(全2回)	講師：佐藤 憲一 氏 (仙台市博物館元館長)	2単位

※上記の日程・内容は変更となる場合がございます。

◆お問い合わせ TEL : 0229-23-7100 / Mail : yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp

# その他の行事・講演会

## 第10回吉野ネットワーク 人材育成研修会

9月2日～4日



吉野作造を通じた全国的なネットワークの構築を目指し始まった人材育成研修会は、第10回を迎えました。2016年の参加学生は、東北大学、慶應義塾大学、防衛大学校、京都大学、駒澤大学、龍谷大学、同志社大学などから集まった計23名でした。

全体テーマは「自由と平等のディレンマ」。初日の2日には猪木武徳・大阪大学名誉教授による基調講演「デモクラシーとメディア」が一般公開で行われました。場所を中新田交流センターに移した3日には、奈良岡聰智・京都大

学教授による「吉野作造の第一次世界大戦論」、村井良太・駒澤大学教授による「市川房枝に考える完全普選70年」の2つの講義が行われました。4日は記念館にて、一般公開の成果報告会を行いました。

各講演・講義は、「吉野作造研究」第13号（2017年4月刊行）に掲載予定です。参加者数・計141名

関連記事  
猪木武徳氏基調講演↓P9

## 三谷博氏講演会

### 「世界文脈における明治維新」

9月9日



明治維新史研究の第一人者である三谷博・跡見学園女子

大学教授による講演「世界文脈における明治維新」が行われました。日本史における近代革命とも言うべき明治維新を、他国の革命と比較し、また19世紀の国際社会の中に位置づけ、その意味を問い直すものでした。

また研究会のテーマにちなみ、小嶋翔・当館研究員による2013年度企画展「明治文化研究の奇人変人たち」の紹介もあわせて行われました。参加者数・47名

## 大川真館長

### 安中教会にて 記念講演会

平成29年1月24日



日本キリスト教団安中教会（群馬県安中市）にて、当館の大川真館長による講演会「平和の意味を問いつづける―柏木義円・安中教会と吉野作造から学ぶ―」が行われ

ました。後期企画展「自由を愛し、平和を貫く―吉野作造と安中教会―」開催にあたっては、安中市の皆様へ資料調査・借用から広報まで多大なご協力を頂きました。

講演内容は、平和主義・思想の歴史的潮流の中で、柏木義円や吉野作造の位置づけを問い、彼らの思想を構造的に解説するものでした。特に柏木義円については、その論が極めて合理性・論理性に富む点を指摘しました。合わせて、新島学園所蔵の柏木義円あて吉野作造書簡2通を紹介し、彼らの交流を紹介しました。参加者数・18名

関連記事

企画展「自由を愛し、平和を貫く」  
↓P5

## 後藤彰信氏著

### 『石川三四郎と日本アナーキズム』

#### 書評会

平成29年2月4日

後藤彰信氏は、長年宮城県公立高校教諭のかたわら、日本社会運動史研究者として活躍されてきました。同氏にご来館いただき、2016年刊の新著『石川三四郎と日本アナーキズム』（同成社）の書

評会を開催しました。参加者数・8名



## ロータリーアクト 第40回地区年次 大会記念講演

5月21日



講師・大川 真館長  
会場・芙蓉閣（大崎市古川）  
演題・「Ask what you can do for your country―期待を生きる力に―」  
来場者数・107名



### 大崎法人会 役員研修会

8月24日

講師・・大川 真館長  
会場・・カレッジプラザ（秋田市）  
演題・・「大正デモクラシーにおける共同（協働）性の再編」  
来場者数・・32名



日本文芸研究会  
第68回大会 シンポジウム  
「1920年代の文化と思想」  
6月11日

講師・・大川 真館長  
会場・・古梅荘（大崎市古川）  
演題・・「民本主義100周年」  
年）民本主義Ver. 2.0を目

### おおさき青年会議所 シニアクラブ講演

11月25日

講師・・大川 真館長  
会場・・吉野作造記念館  
演題・・「民本主義100周年  
家族で語り合う民主主義」  
来場者数・・20名



### 白梅会 三本木支部交流会

9月22日

講師・・大川 真館長  
会場・・鳴子観光ホテル  
演題・・「民本主義100周年、大  
崎から吉野作造を発信しよう」  
来場者数・・32名

講師・・大川 真館長  
会場・・長命ヶ丘市民センター  
（仙台市泉区）  
演題・・「吉野作造に学ぶ民主  
主義の原点〜民本主義100  
年を超えて〜」  
来場者数・・96名

### 長命大学講座

12月15日

講師・・大川 真館長  
会場・・主婦会館  
（東京都千代田区）  
演題・・「吉野作造と協同組合  
〜賀川豊彦との協同〜」  
来場者数・・17名



日本生協連資料室  
土曜講座  
11月26日

指して」  
来場者数・・35名



### 宮城いきいき学園 大崎校

平成29年2月28日

講師・・氏家 仁  
会場・・大崎生涯学習センター  
演題・・「郷土の歴史と文化」  
来場者数・・30名

## 民本主義100年記念の シダレザクラを植樹

### ● 吉野先生を記念する会【10月30日】

吉野作造が民本主義を提唱してから100年を記念し、吉野先生を記念する会（高橋憲夫会長）主催による記念植樹式が、吉野作造記念館前の広場で行われました。当館指定管理者NPO法人古川学人の佐藤俊明理事長も出席しました。

植樹されたのはシダレザクラ。吉野作造が朝日新聞社で論説委員を務めていた時期に、同社で同僚だった民俗学者の柳田国男に贈った木です。

吉野先生を記念する会の皆様に心より御礼申し上げます。



## みやぎの先人集 「未来への架け橋」 第2集に 吉野作造が掲載

宮城県教育委員会が発行する副読本『みやぎの先人集「未来への架け橋」』第2集に、吉野作造が掲載されることが平成29年2月付で発表されました。

『みやぎの先人集』は、宮城県教委が推進している「志教育」のための副読本です。第2集では吉野の他、大正・昭和時代を中心に様々な分野で活躍した、宮城県ゆかりの先人30人が取り上げられます。平成30年2月発行予定です。

# 大崎市内小中学校への 教育普及事業

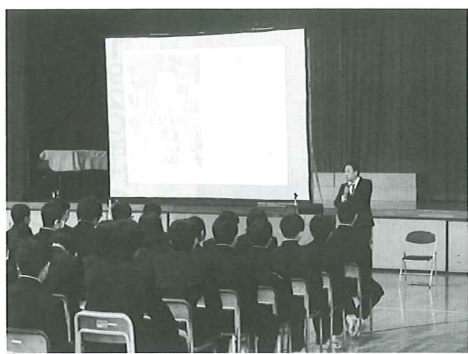


## 古川中学校 開校記念講話

4月18日

大崎市立古川中学校では、毎年開校記念日である4月18日、3年生を対象に吉野作造記念館による講話会を行っています。2016年度は大川館長が「古中の先輩・吉野作造からのメッセージ 2016」と題し、吉野のデモクラシー論の今日的な意味を紹介することで、社会に対して貢献することや志をもって将来を展望していくことの大切さを伝えました。

参加者数…190名



### 記念講話を聞いて

今回の講話を聞いて、私たちの大先輩である吉野作造がどのような人だったのか、民本主義がどのようなものであったのか知ることができました。

まず、吉野作造は周りに何を言われようと自分の意見を主張し、やり通す人物であること、政治に大きく関わり、今の日本を作ってくれた人物であることを知りました。吉野作造は、自分のためだけでなく、他人や社会、国のために貢献しています。「思いやり」「自分のしたいことも大切だが、自分にできることも大切」というお話を聞いた中で、自分達がこれからどのような生き方を目指すかを考える良い機会になりました。また、吉野作造と選挙についての話を聞く中で、選挙の意義や影響、わたしたちの生活との結びつきなど知ることが

できました。現在、当たり前前に送ることができている生活も実は民主主義でなかったら実現できていないことだと気づくことができました。今回の講演会で感じたこと、考えたことを整理し、「自分ができること」を今後の学校生活や普段の生活の中でどんな小さいことでも実行に移したり、挑戦したりしていきたいと思えます。ありがとうございました。

(佐々木果音さん)

先日の開校記念講演から学んだことが2つあります。

1つ目は、古川の大先輩である吉野作造の言葉から「修己治人（自己を確立していくこと）」です。自分にしっかりとした筋を通すことの大切さを感じました。僕は学年委員なので、皆をしつかりまとめて、良い方向に導いていかなければならないので、「修己治人」を心にとどめて頑張りたいと思います。

2つ目は、「自分の幸せだけでなく、社会の幸せを考える。これが思いやり」という言葉です。社会という広い範囲で幸せを考えることは吉野作造の素晴らしいところだと思います。僕も学年委員として、学級や学年全体の幸せを

考えていけたらと思います。大川先生のお話や吉野作造の功績から、古中最高学年としての自覚が高まりました。「修己治人」、「思い遣り」を

(荒井啓希さん)

## 古川中学校 ドリームキャリアセッション

11月18日



### 講座に参加して

私は、大川真さんの話を聞いて「生き方」について3つのことを学びました。

1つ目は、求められる人間になるということです。例えば人助けをしたときなどの案が出ました。

2つ目は、努力すれば必ずだれかが見てくれるということです。例えば友達や先生、家族が見てくれるという案が出ました。

3つ目は、悩むことはいいことということです。例えば、夢や進路などの案が出ました。シェアリングではグループで学んだことを発表し合い、多くの期待に応えることや、人の役に立つようなアイデアをすればいつか必ず自分に返ってくるという話が出ました。

(庄子琴葉さん)

古川中学校が取り組んでいる、大崎市内で活躍する様々な職業の人びとの話を聞く、キャリア形成のための特別授業です。大川真館長は、今年1年生を対象に「学者・研究者」部門の講座で「学者・研究者は社会に何ができるのか?」と題した講話を行いました。研究者という職業や、そうした職業を選択することの意味、また社会の中でそうした仕事をするということについての意義を語りました。

参加者数…13名

講話を聞いて学んだことは、「人の意見をバカにしない。自分にウソをつかない。選択肢があるのはイイコト。」の3つを学びました。

選択肢があるのは、自分の将来の幅が広がるのでとても大切です。また、それが夢を決めたりする際に自分にウソをつかないことも大切になってくると考え、まとめました。

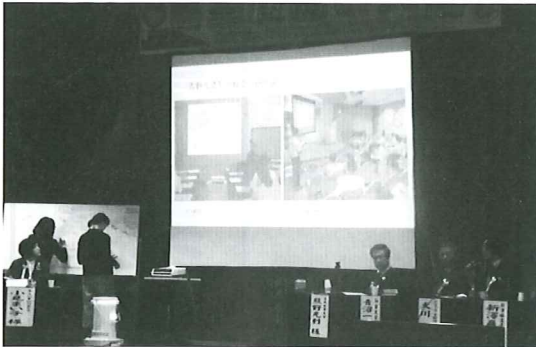
このドリームキャリアセッションでは、たくさんの方を学びました。このことを生かして、これからの学校生活を

### 古川中学校自主公開研究会

11月24日

古川中学校自主公開研究会で行われたパネルディスカッション「志教育に期待すること」に、大川館長もパネリストとして参加し、「FYTS（ファイツ）を内外からアセスメントする」というテーマで、古川中学校で行われてきた地域全体と連携した教育「FYTS」に、吉野作造記念館としてどう関わってきたかを報告すると共に、地域社会と教育の連携に関する提言を行いました。

参加者数・215名



送っていいこうと思いましたが、私も将来、保育士がとも気になっていきます。セッションのことを生かし、これからゆくり考えていきたいし、自分に合った仕事をみつけていきたいです。

(高橋陽菜さん)

私は講話を聞き、2つのことを学びました。

1つめは「人に求められる人間になれ」というキーワードです。私はどちらかと言えば「求められない」方なので、人に優しくしたり、相談を受

けられるような人になれるように頑張ろうと考えたキーワードです。

2つめは「努力すれば誰かが見てくれる」です。このキーワードは勉強で私が感じたことに似ていると思いました。私はコツコツ勉強して、学力テストで順位が上がりました。その時、「努力は身になる」と学びました。私は大

### 古川中学校職場体験実習

6月29日～7月1日

今年度は古川中学校2年生の3人が、吉野作造記念館に職場体験実習に来ました。

学芸員の仕事から、受付、周辺の清掃まで、普段記念館職員が行っている仕事を一通り体験してもらいました。

3人とも、3日間の実習を、自分が将来、どのような仕事で、どのような形で人や社会の役に立つかについてよく考える機会としてくれたようです。

参加者数・3名

#### 職場体験実習に

#### 参加して

吉野作造記念館の職場体験を通して、人と接することが苦手だったら何もできないと

川さんの話を聞いてその時の気持ちを出しました。

シェアリングでは、色々なグループで学んだことを聞きました。「我慢強く、あきらめずに取り組み、失敗しても前向きに」「人の事を考えて生活すれば、自分にも返ってくる」というまとめになりました。

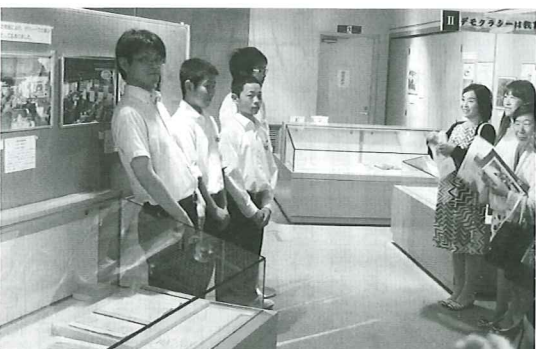
(田中花音さん)

思いました。でも、(お客様への)説明が終わった時に受けた歓声は、今まで受けたことのないものだったので、その歓声を受けられる仕事にしたいなと思いました。

(高橋悠真さん)

体験を通して考えた進路のことは、吉野作造記念館で働くとしたら、吉野作造のことについて詳しくならないといけないと思いました。展示室でもいろいろあって驚きました。その中で1つ選び、発表したのも成長したと思います。この成長したものを今後に生かしていきたいと思っています。

(千葉理弘さん)



今回、吉野作造記念館の体験をして、接客することの難しさや、働くときの基本的なことを知ることができました。でも、実際にもっと働くようになってからは体験した時以上に大変だと思うので、将来のことをよく考えていきたいと思っています。

僕はあまり将来のことを考えていなかったのですが、良ききっかけとなったと思います。なので、少しずつでも考えて頭に入れておきたいです。

職業を見つける前に勉強をしっかりして、職業を選ぶ時の幅を広げていきたいと思っています。

(伊藤 瑛さん)

事業名	参加者数
○ヤングジャパン応援事業	
・古川高等学校古高学人会見学 (6月5日) その他古高学人会への協力	9名
・仙台第三高等学校放送部への取材協力 (10月6日・9日・15日)	5名
・尚綱学院大学研修会 (2017年1月7日)	25名 →P15
・古川学園高等学校見学会 (2017年1月17日)	140名 →P15
○元気発信「まちカル」事業	
・わっくわく教室 (9月24日)	42名 →P16
・オオサキ映画自主上映会実行委員会の運営サポート	
○健康増進事業 (NPO 法人ハッピーート大崎との共催)	→P16
・休憩ラウンジを活用した食育・健康増進・教育等の事業 (通年)	
・大崎市主催事業「脳トレ塾 (脳の健康教室)」への協力 (2016年9月～2017年2月)	
○被災地支援事業	
・チェロ奏者土田英順氏によるチャリティーコンサート (4月23日)	172名 →P17
・南三陸 SAP への協力	
・イシノマキ・カワノカミ大学への協力	
○キッズ教育支援事業	
・太陽学童保育学習クラブ見学会 (4月5日)	33名
・映画「ずっと、いっしょ。」上映会 (4月8日～10日)	66名 →P17
・Synapse40と協力した教育支援事業	→P18
・夏休み自由研究サポートし隊! (7月28日～31日)	1名 →P20
・宮崎中学校見学 (9月30日)	8名
・北浦小学校見学会 (11月22日)	33名 →P20
○東アジア交流事業	
・映画「弁護士 布施辰治」上映会 (11月20日・12月4日)	38名 →P21
○シティズンシップ普及事業	
・応援企画「選挙に行こう」選挙+plus への参加協力 (通年)	
・高等学校での主権者教育事業	→P21
・仙台第三高等学校 (6月3日)	960名
・東松島高等学校 (6月3日)	169名
・宮城野高等学校 (6月14日)	275名
・涌谷高等学校 (6月29日)	129名
・岩出山高等学校 (11月15日)	89名
・仙台第二高等学校 (2017年1月19日)	320名
・南郷高等学校 (2017年2月16日)	69名
・名取高等学校教員研修会 (2017年2月24日)	39名
○平和事業	
・アジア・オセアニアシーレーン「非核平和創造クラブ」創設構想を提言	
○環境デモクラシー事業	
○寄附金募集、個人会員・企業会員の拡大事業 (通年)	

平成28  
(2016)  
年度

NPO法人古川学人  
事業報告

合計	439,920円	氏名非公表ご希望 3名様	白梅会三本木支部	古川黎明中学校	高等学校同窓会	団体様	加藤シゲ	塩本順子	齋藤誠一	野村喜一郎	幸頭英治	高橋昭子	二橋博美	水野盛一	千原繁典	千原真子	滝田光	菅原裕善	佐藤幸也	佐藤直樹	北益三	大川真	大川純	井関利子	岩田利子	個人様 (受付順)
----	----------	--------------	----------	---------	---------	-----	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	-----	-----	-----	------	------	-----------

ご寄附頂いた  
皆様のご紹介  
(2016年3月18日)  
(2017年3月31日)  
公表のご了承を頂いた方のみ  
ご紹介させて頂きます。

**NPO法人古川学人へのご寄附**  
館にて直接ご寄附頂くか、下記振込口座をご利用ください

**ゆうちょ銀行 (ゆうちょ銀行から)**  
特定非営利活動法人 古川学人 (トクヒ フルカワガクジン)  
記号 18170 番号 22846291 総合口座

**ゆうちょ銀行 (その他金融機関から)**  
特定非営利活動法人 古川学人 (トクヒ フルカワガクジン)  
店名: 八一八 (ハチイチハチ)  
店番: 818 預金種目: 普通預金 口座番号: 2284629

**古川信用組合**  
特定非営利活動法人 古川学人 理事 佐藤俊明  
(トクヒ フルカワガクジン リジ サトウトシアキ)  
古川信用組合 本店 普通預金 口座番号 3406609

NPO法人古川学人では、吉野作造記念館の指定管理事業にとどまらず、「記念館を活用した地域の振興」「吉野作造の精神を受け継ぐ若者の育成」をテーマに、上記のNPO事業を行っています。

これらのNPO事業は、大崎市からの指定管理料とは別に、多くの皆様の善意とご理解に基づく寄附金によって行われています。ここに寄附いただいた皆様に深く感謝の意を表しますとともに、以下のページにて平成28(2016)年度のNPO事業をご紹介します。

NPO法人古川学人 ヤングジャパン応援事業

# 尚絅学院大学見学会

平成29年1月7日

尚絅学院大学の大崎地区見学研修の一環としてのご来館でした。講義では、吉野作造の思想の根底に、師である尚絅女学校初代校長フゼルから伝えられた「他者への慈愛」と「社会奉仕の精神」があることを紹介しました。

参加者数・25名



歴史の授業で学んだ人物の一人である吉野作造が、こんなに近いところで関わっているとは思いませんでした。自分が学んでいる学校の初代校長であるフゼル先生の研究会

に参加していたということにも驚きました。

吉野作造といえば「民本主義」という印象が強く、日本で活躍した事実を学んできましたが、改めて生涯を見つめてみると、グローバルな視点を持った人でもあるのだと感じました。

(菊池晴香さん)

吉野作造に限りませんが、世に批判されながらも自分の考えが正しいと思いつつ、世を変えていく人の、その勇気と忍耐力をとて尊敬します。

(石川夢摘さん)

僕の住む富谷出身者に、内ヶ崎作三郎という吉野作造と親交がある人がいました。教科書の大先生方が身近な郷里であるだけに、こうして資料を拝見し、説明を受けて吉野作造が遺してくれたものに興味がわきました。

(文屋 実さん)

NPO法人古川学人 ヤングジャパン応援事業

# 古川学園高等学校見学会

平成29年1月17日

昨年に引き続き、古川学園高等学校3年生(普通科総合コース)の皆さんが見学に来てくれました。今年度は見学と合わせ、日本史の授業の一環として、吉野作造が「民本主義」を唱えた時代背景や、その後の日本への影響なども踏まえた内容の講義を行いました。

参加者数・140名



**Q1** 吉野作造が考えたことは、今日の社会にどのように生かされていると思いますか？

● 選挙で国民の意見が反映されている現状は、吉野作造の働きかけや呼びかけが

平成29年1月17日

あってこそなのだと思います。吉野作造が目指した自由と平等、相互理解の精神は今でも理想であるものの、なかなか広まっていないように感じます。将来、そのような精神がたくさんの国や人々に広まれば、国内だけではなく国外でも助け合うことができると思います。

(針生綾音さん)

● 男性だけが物事を発言し動かす社会では、女性だけが自分の意見を言えずに溜まってしまう、いつか爆発してしまつていたと思います。男女が平等に政治参加ができるようになったことで、女の人の意見も反映されるようになったし、最近では18歳以上の若い人たちも意見を発言する機会がもらえるようになったことで、幅広い年齢層、男女の意見を聞くことができるようになり、考え方や物事の見方、選りも豊かになったと思います。

(梅原紫音さん)

**Q2** 今日の見学会や講義の感想を自由に書いてください。

● 今日の講義を聞いて、あまり関心がなかった吉野作造のことをよく知ることができた。若者に人気があったのはとても意外で驚いた。吉野作造が目指した、一人ひとりが自由で平等な人間として助け合い、より良い社会をつくる責任を持つ社会をつくれるように、これから私たちが助け合い、そして吉野作造が目指した社会をつくれるように頑張っていきたいと思っています。

(菅原颯汰さん)

● 授業では聞けない話もたくさん教えていただき、人々の意見が尊重されること、おしゃべりが当たり前になったこと、生活が豊かになったこと、考え、行動などで自立することはとても大切なことだと思えます。辛い時、誰かに甘えてくれる自分がありました。これから社会の一員になるので、もっと自分で考えるか、周りをよくするよう行動したいです。

(熱海結衣さん)





NPO法人古川学人 元気発信「まちカル」事業

# わつくわく教室

## マープリングで遊ぼう！

9月24日

わつくわく教室は、地域の未就学児から小学生までの子どもを対象とした芸術・工作教室です。主に宮城県内で活動されている芸術家・造形作家の方々に講師にお招きしています。2016年度は、NPO法人東北の造形作家を支援する会（仙台市青葉区、藤原久美子理事長）に講師協力をいただき、マープリング教室を開催しました。

マープリングは、水の動きが作る模様を紙や布に転写する技法です。容器に水を張って様々な色のインクを垂らし、つまようじでかきまぜると、大理石を思わせる奇妙で複雑な形に模様が広がっていきます。この不思議な様子を子どもたちは楽しんでいました。広がった模様を画用紙に転写し、飛行機やバッグなどを作りました。マープリングで作った世界に一つだけの作品をみなさん大切そうに持ち帰っていました。

参加者数…42名

NPO法人古川学人 健康増進事業

# 健康相談コーナー&脳トレ塾

## 健康相談コーナー

通年事業



吉野作造記念館休憩ラウンジは、誰でも利用できる市民の憩いの場として開放されています。また同時に、NPO法人ハッピート大崎（千島優子理事長）との協力により、「健康増進事業」としてラウンジ内において健康相談コーナーを設置し、年間を通して食生活の相談や健康啓発事業を実施しています。

また、GWイベントやクリスマス会といった吉野作造記念館市民交流事業の際には、

## 脳トレ塾

料理教室などの特別企画を開催しています。2016年度は、生活をテーマとした企画展「暮らしの向上を求めて」を開催したことから、GWイベント（5月5日）では『暮らしの手帖』で紹介されたビスケットを作る企画を開催、また企画展オープニングシンポジウム（5月29日）にパネリストとして千島理事長が参加するなど、企画展とのコラボ企画が行われました。

### 関連記事

- 企画展「暮らしの向上を求めて」 ↓ P 4
- 市民交流事業 ↓ P 6

## 脳トレ塾 (脳の健康教室)

平成28年9月7日  
 ～平成29年2月15日

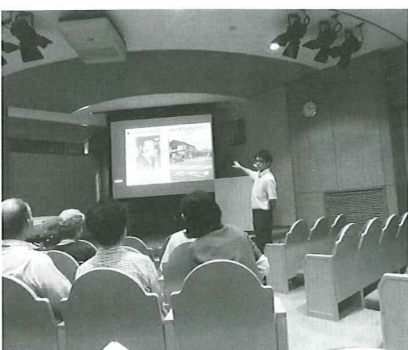
主 催…大崎市  
 業務委託…NPO法人  
 ハッピート大崎

高齢者の認知症予防や健康づくりの学習を通じて、社会

参加が促進され、自立した生活を継続することを目的とした脳の健康教室「脳トレ塾」が吉野作造記念館を会場に毎週1回開催されました。



吉野作造記念館では、脳トレ塾参加者を見学無料にするなどの事業協力を行いました。また8月31日の準備説明会では、小嶋翔研究員が登壇し、記念館の概要、社会福祉事業家としての吉野作造の側面などについて紹介しました。







東日本大震災復興支援に取り組むチェロ奏者・土田英順氏（北海道札幌市）によるコンサート「あなたを、忘れない」のころをむすぶコンサート

「ト」が、吉野作造記念館で開催されました。土田英順氏は日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、

NPO法人古川学人 被災地支援事業

チェロ奏者 土田英順氏

チャリティコンサート

4月23日

主催：NPO法人古川学人／大崎コミュニティカレッジ

札幌交響楽団首席チェロ奏者などを歴任、ボストン交響楽団およびボストンポップスオーケストラでも演奏。現在はソロでご活躍中です。

震災直後から続けている北海道内や東北の被災地でのチャリティコンサートは、今回の当館でのコンサートで通算304回目となります。2012年12月には自ら「じいたん子ども基金」を開設し、日々の活動を詳細に報告しながら、精力的に支援に取り組んでいます。

今回のコンサートは「特に子どもたちに、本物のチェロの音色を聴いてもらいたい」という土田氏の思いから、小さいお子様連れでの来場に配慮し、14時開演の部と18時30分開演の部の2回開催されました。

土田氏が奏でるチェロは、津波の犠牲となった岩手県大船渡市の女性が所有していたもので、ご遺体の傍らにあったものを、女性の知人を通じて土田氏が譲り受けました。優しく、力強く響きわたるチェロの音色は来場者を引き込み、小さな子どもたちもまた、演奏する土田氏を食い入るように見つめながら夢中で聴き入っていました。

来場者数：計172名

NPO法人古川学人 キッズ教育支援事業

映画「ずっと、いっしょ」上映会

4月8日・9日・10日



2015年に開催した映画「みんなの学校」自主上映会に続く2回目の映画自主上映会として、映画「ずっと、いっしょ。」（蒙田トモ監督、2014年）の自主上映会を開催しました。

ドキュメンタリー映画「ずっと、いっしょ。」は、血のつながりのない家族、愛する人に先立たれる家族、死と向き合う毎日生きる家族とそれぞれの事情に向き合う3家族の姿を通して、自分たちが生まれてきた意味や家族の絆、命の大切さ、幸せのあり方を考え、感じる作品です。

いのちと誕生を見つめた前作「うまれる」の第2章である本作は、「いのちが誕生した後」の「家族のつながり」に焦点を当てた内容となっています。

3日間、計7回にわたり行われた上映会では、通常の上映に加え、字幕入りのバリアフリー版、お子様連れのお客様を対象とした「ママさんタイム」版上映も行われました。来場者数：計66名

#### ○土田英順氏の活動と

「じいたん子ども基金」について

<http://blog.hokkaido-np.co.jp/enjoy-cello/>

#### ○オオサキ自主映画上映会実行委員会

古川学人では「元気発信まちカル事業」として実行委員会の運営サポートを行っています。詳細は下記までお問い合わせ下さい。

Mail : [osaki.cinemas@gmail.com](mailto:osaki.cinemas@gmail.com)

<https://www.facebook.com/osaki.cinemas/>

NPO法人古川学人 キッズ教育支援事業

# Synapse40 (シナプスフォーティ) と協力した教育・子育て支援事業



NPO法人Synapse40 (千葉繁美代表理事、以下シナプス) は、学校教育経験者のもつ教育資産を活かした、幅広い地域の子育て・教育支援を目的として、2014年に発足しました。

NPO法人古川学人は、シナプスの発足以来、シナプスの活動に賛同し、協力しています。



◀市民フォーラム (12月11日)



◀本やCDの交換会 (5月5日)

▶駄菓子屋出店 に向け話し合い (8月27日)



▶売り上げ金を寄付 (12月11日)



## もったいない寄付!

(シナプス「住みよい まちづくり支援事業」)  
5月5日

5月5日の吉野作造記念館GWIベントと連動し、「もったいない寄付!」と題した本・絵本・CDなどの交換会が行われました。この交換会は、参加者がシナプスに本などを寄付し、引換券を使ってほかの参加者が寄付した物と交換できるというものです。

交換されずに余った寄付品(書籍278冊、CD96枚ほか)は、一部は市内の児童センターなどに寄付され、残りは現金化し「おおさき寺子屋」(シナプス「子どもの学び支援事業」) 教材費として使用されました。

関連記事: ↓P6

## 2016 誰もやらない

子ども駄菓子屋プロジェクト

(シナプス「子ども・子育て支援事業」)

シナプス「2016 誰もやらない子ども駄菓子屋プロジェクト」に、古川学人では出店準備会議の会場提供などの協力を行いました。

このプロジェクトは、参加した子どもたちが駄菓子屋の企画から出店・販売までを行い、売上金を寄付するというものです。活動を通じて地域社会について知り、自ら稼いだ

お金を寄付することで、子どもたちの自己肯定感を高めつつ、社会貢献する意義を学んでもらうことがねらいです。

2016年度は、8月3日〜4日の古川まつり、10月22日の大崎福祉まつり等の会場で計3回、4日間にわたり駄菓子屋を出店しました。

## 共生社会の実現に向けた市民フォーラム2016

主催: NPO法人シナプス40  
共催: NPO法人古川学人

12月11日

吉野作造記念館を会場に「自分の幸せとみんなの幸せを考え、実践できる子どもを地域でどう育てるか」をテーマにしたフォーラム。前半のパネルディスカッションでは、大川真・吉野作造記念館館長、千葉繁美・シナプス代表理事、鈴木美恵子・日本ボイスアウト宮城県連盟理事、高橋信行・ソーシャルアカデミー寺子屋代表が報告しました。後半では「子ども駄菓子屋プロジェクト」寄付金贈呈式・修了式が行われました。

子どもたち自身の審査により寄付先に決まった団体、アフリカ・日本・ケニア文化協会(サヒナ大黒会長)に、駄菓子屋の売上金とシナプスからの支出計10万円が寄付されました。寄付金は同団体を通じ、ケニアでの孤児院建設費用として役立てられます。

参加者数: 54名

## 子ども駄菓子屋プロジェクトを振り返って



最初は、駄菓子屋をやりたいという単純な思いがありました。しかし、最初は計画から始まりました。「たまご幼稚園の仲間達」のチーム名で話し合い、営業、ふり返り、この後は2号店3号店と店を出し、修了式で無事、目録をわたすことができました。

最初の計画では、自己紹介からはじめ、チームをつくり、営業のお金についてなどの計画を練りました。初めての店1号店では「KIDS駄菓子S」チームより売り上げが高く、目標まで行きませんでした。1号店が終わった後の会議では、

2号店と3号店を出すことが結論でした。初めてだったのでびっくりしました。2号店では、ジュースが売れました。3号店では、自分の店を出しました。正直あまり売れませんでした。でも、チームでの営業ではお客さんがたくさん来たので良かったです。お店が終わり、修了式の話し合いでは、自分から「目録」の係を選びました。

最初はこういうことか分かりませんが、お母さんに聞いたら集めたお金をわたすんだと言われました。本番ステージの前で緊張しましたが、自分の気持ちを声に出してわたせたのは良かったです。感想が終わった後、お母さんにほめられました。担任の先生や校長先生にも来ていただいて、初めての駄菓子屋でありがたく、うれしく1年間を終わることができました。

私は2016子供駄菓子屋プロジェクトをして、仕事は大変だと学びました。私は、目録をやったこと、駄菓子屋をやったこと、将来の夢に向かって「福祉」についてもっと勉強しようと思いました。

(小5 鈴木里緒さん)

私はボランティアを経験してみて、良かった事と悪かった事があります。まず良かった事です。良かった事は2つあります。1つ目は、友達と協力したこと。自分の仕事だけでなく友達の仕事を手伝ったりしたので良かったと思います。2つ目は、お客さんがたくさん来て、商品が思ったよりたくさん売れました。とてもうれしかったです。

次に悪かった事です。悪かった事は2つあります。1つ目は、チラシが少なくてあまり配れませんでした。2つ目は、テントの中に誰もいなかった時が多かった事です。最初はみんなテントの中にいたはずが、急にみんな呼び込みの方に行ってしまったので、そこが悪かったなと思います。

夏祭りと秋祭りの店を開くのがとても大変でした。けれど、みんなで協力してできたので、チームワークがよくできたなと思いました。

来年は自分が参加するのでなく、友達に参加してもらって、その人がやっている駄菓子屋に行ってみたいなと心に残りました。もしそういう風にこまっていた人たちがいたら、助けてあげたいと思いました。

(小5 樋口美怜さん)

ぼくは、だれもやらない子ども駄菓子屋プロジェクトに参加して思ったことがあります。

1つは駄菓子屋の話し合いです。話し合いでは、最初のころは、自分から積極的に話したりすることができなくてどうすればいいか分からなかったけど、2回、3回目の話し合いになると自分から意見を言えるようになりました。2つ目は駄菓子屋をやったことです。駄菓子屋は、注文↓届く↓お店を開いて↓売ったお金から注文したお金を引いてやると利益をとれるというしくみを初めておぼえました。商売でお金を稼ぐのは大変だし一人ではできないことが分かりました。駄菓子屋は大変であり、商売はともむずかしいことが分かりました。

(小6 金子珠利くん)

駄菓子屋をやったよかったことは、3つあります。1つ目は、友達がふえたことです。1番仲良くしてくれたのは、しゅなちゃんでした。これからも仲良くしてくれればと思います。2つ目は、お仕事の大変さを学びました。でも、お店でお客様が喜んでくれたのを見たらとてもうれしくなりました。3つ目は、みんな協力してできたことです。駄菓子屋をやった一番うれしかったことは、やっぱりお店で商品が売れたり、お客さんのえがおが見られたことです。

た。また来年もやりたいと思います。

(小4 赤間千紘さん)



Synapse40の活動について詳しくは下記をご参照ください。ボランティアのお申し込み、ご寄付も受け付けています。

○NPO法人 Synapse40公式サイト

<http://synapse40.wixsite.com/synapse40>

○Synapse40へのお問い合わせ

TEL / FAX : 0229-22-2886

Email : synapsemail40@gmail.com

NPO法人古川学人 キッズ教育支援事業  
夏休み自由研究サポートし隊！  
7月28日～31日


記念館職員が小学生の自由研究をサポートする、夏の恒例企画。2016年は古川第一小学校6年生の平塚大翔くんが参加してくれました。

## 伊達政宗と大崎市




古川一小、6年組 平塚 大翔

きた。伊達政宗は、茶道や木彫、母に茶かまききた。



なげなげな 賀茂長なのか  
政宗の母が、戦時の世を生きた頃の伊達の山を渡る、長海といふ川にたのんで、けいの山にきかんとした。賀茂の長がたのんで、伊達の母の山にたのんでした。

れ、佐賀県や福岡にいたから、京都の男に行っていたから、なごの理由が分かれる。



岩出山の花前をつけたのは伊達政宗！  
伊達家の学問所 有備館  
伊達政宗との関係はないが、大崎市と伊達家の関係として、うまい。

記念館で調べるだけでは飽き足らず、大崎市内の岩出山城跡に現地調査、そして調べたことはもらさずまとめ、すばらしい研究でした！



表彰式(8月5日)



NPO法人古川学人 キッズ教育支援事業  
北浦小学校見学会  
11月22日

美里町立北浦小学校6年生の皆さんが来てくれました。吉野作造について学びと共に、美里町の人物との関係にも興味を持ったようでした。  
参加者数…33名



吉野作造さんが、民本主義という考え方を広めたことについて語りしています。考えを広めるといふことは、とても大変なことです。よく広めたなど思いました。千葉亀雄さんのことは、前に調べ学習をしたときに知りましたが、吉野作造さんとお友達だったことは知らなかったのです。知ることができて良かったです。

吉野作造さんは、雑誌などを書いていたというのを聞いて、どんな雑誌を書いていたのかも気になりました。  
(石川 翠さん)

すごいと思ったところは、父は古川の町長をしていたということ、12人兄弟の3番目ということ、大正時代一人ひとり自由な生活、豊かな人生を目指しはじめたことを大正デモクラシーということが分かりました。選挙はお金持ちしかできなかったことも分かりました。吉野作造さんの言葉で「人間は利用される方がいいんだ。利用される間は世間から忘れられていらないという証拠になるから」という考えがすごいと思いました。  
(櫻井恵太くん)

分かったことは2つあります。1つ目は吉野作造は「民本主義」をうたったということです。わたしが

は、吉野作造が民本主義をうたっていたなかつたら、今の政治はなかつたと思います。2つ目は教育にめぐまれていたことです。吉野作造は長男だったにも関わらず、家業をつがないで学問に取り組んだこと、それに母にスパルタ教育をされていたことです。この両親のおかげで学問に取り組む、大学で政治を学ばなければ、民本主義をうたえたてはいなかつたと思います。吉野作造は、周囲の人に支えられ自分でも努力したから有名になったことが分かりました。  
(富士原万音さん)

吉野作造が、昔どのように活躍したのか、大正時代の変化などは、知らないことがとてもあったのですごく勉強になりました。特に、古川の火事、化女沼の池干しはまったくの初耳で、昔はいろいろなことがあったのだと実感しました。気になることもたくさんありました。吉野作造は様々な変化を起こしてきましたが、まったくちがう人が同じようなことをすることはできなかったのです。他の人物にもあてはまるのです。がやっぱり気になりました。  
(熊谷大輝くん)

NPO法人古川学人 東アジア交流事業

# 映画「弁護士布施辰治」上映会

11月20日・12月4日



後期企画展「自由を愛し、平和を貫く―吉野作造と安中教会―」の関連企画として、ドキュメンタリー映画「弁護士 布施辰治」（池田博穂監督、2010年）の無料上映会を行いました。

布施辰治は1880年（明治13年）、現在の石巻市蛇田に生まれ、大正デモクラシーの時代に弁護士として活躍した人物です。独立運動に関与し逮捕された朝鮮人青年の弁護や、関東大震災で家を失った

被災者がバラックに居住する権利を主張するなど、布施は常に弱い人の立場から、自由と平和、暮らしの安心を守ることに力を尽くしました。

2004年、韓国政府より日本人として初めて大韓民国建国勲章を授与されました。

映画は、布施の故郷である石巻市や、韓国取材し、多くの資料や関係者の証言を集めながら、布施の生涯を克明に追ったものです。

来場者からは「人間の権利は法の下に平等であり、老若男女、国籍、思想、職業他に左右されないことを身をもって実践した尊敬すべき弁護士」「平和な今日でも、目に見えない不平等、格差社会について、この映画を通じて考えさせられた」といった感想が寄せられました。

来場者数…計38名

### 関連記事

・駐仙台韓国総領事ご来館

↓P1

・企画展「自由を愛し、平和を貫く」

↓P5

NPO法人古川学人 シティズンシップ普及事業

# 高等学校での主権者教育

平成28年度、吉野作造記念館では宮城県内の高等学校7校で、主権者教育の特別授業を行いました。

2016年（平成28年）は、改正公職選挙法が施行され、選挙権年齢が18歳に引き下げられる「18歳選挙権」の始まりの年でした。くしくも丁度100年前の1916年（大正5年）、吉野作造は『中央公論』誌上で「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」を発表しました。選挙権拡大と、国民の有権者としての意識向上という、現代と同じ課題に生涯向き合った吉野が「民本主義」を唱えてから100年目の年に、新たな有権者となる高校生力になるべく、主権者教育事業を行いました。

授業の内容は、吉野作造を1つの軸に、選挙で政治家を選ぶ意義や民主主義の意義について事例を紹介しながら、他者や社会に関心を持ち、社会の一員として積極的に参画していくことの大切さを考えてもらうものとなりました。

本事業にあたっては、県内各高等学校の先生方ならびに宮城県教育委員会様、同北事務所に多大なご理解とご協力を賜りました。この場を借りて深く御礼申し上げます。

※平成27年度の主権者教育授業および、教員対象講話も合わせて紹介します。

## 宮城県登米高等学校 2年生

平成28年3月17日

参加者数…165名  
※平成27年度事業



●これからの有権者になる訳で、政治との関係が深まります。

今までは現在の政権だけを知っていればいいなという感じていた。でも自分たちでより良い国づくりをしなればいけないという意識が出てきました。ただ、自分たちも積極的に参加したくなるような議員が増えればいいと感じます。

（及川大樹さん）

●これまで政治に関してはあまり関心を持っていなかったが、有権者になるにあたってしっかり政治に関心を持たなければいけないと思った。そして、ただ関心を持つだけではなく、私の一票にも責任があることを自覚して選挙に参加したいと思う。

（塩口友也さん）

●政治家と聞くとあまり良いイメージはなかったけれど、国民の意見を聞いたり、法律を作ったりする上で、必要な存在だということが分かりました。これから政治に参加するということ、選挙に向けて政治に関するニュースに興味を持ちたり、地方の政治家の方に関心を持ちマニフェストを調べてみたりして知識を深め積極的に政治に参加していこうと思いました。

（及川結衣さん）

## 宮城県仙台第三高等学校

1・2・3年生

6月3日

参加者数・960名



●選挙権の獲得のことが印象に残りました。先生は吉野作造さんについてお話ししてくださいましたが、各国の歴史も改めて見て、どの国でも多くの人が努力をして選挙権を獲得できたこと改めて感じたからです。今私たちに選挙権が平等に与えられるものだと当たり前のようになっていると思いますが、これから自分の一票の重みを感じてもっと日本の政治についてよく考えなければならぬと思います。また、年齢ごとの投票率も聞いて、このままだと本当にお年寄りのためだけの政治になっ

てしまうという危機感を覚えしました。若い人がきちんと投票に行く、それだけでこの国は大きく変わると思ったので、私はまず夏の選挙についてよく調べよく考えたいと思います。

(浅見茉那さん)

●「民主主義において、全員が納得できる答えはない」ということが最も印象に残った。自分も様々なことに対して意見を持つが、それが他者と食い違うことも少なくない。そんな時に、他者の意見を全く退けてしまふのではなく、一度飲み込むことで、違った視点の意見を知ることができ、自分の意見に幅を持たせることができると思った。そうした上で自分の考えに1番近い政党を選んで投票するということが大切だと分かった。自分は7月の参院選は選挙権があるので、必ず行き、しっかりとした理由を持って政党に投票したいと思う。

(工藤圭太さん)

●「参政権は、国という団体の生活の責任をひとりひとりが分担すること」という言葉が印象に残りました。先人たちの努力があって、い

ま私達が2年早くその責任を手にすることができたということを中心に留め、自分の貴重な一票をしっかりと考えて投票したいと思っています。

(藤原杏華さん)

宮城県東松島高等学校  
新入生を除く全校生徒

6月3日

参加者数・169名



●自分たちが動く(選挙に行く)ことで、10年20年かけて世の中が少しずつ変わるといふことが印象に残りました。自分も今年で18歳になり、選挙が他人事ではなくなつた今、自分ができることは微力なのではないかと、最近まで疑問に思っていたからです。

●「一応」選挙に行くことが大切。しっかりとではなく「一応」というところが印象に残った。投票率が20代が32%で60代が68%と聞いて驚きました。最初の選挙は1.1%の人しか行けなかったんだなあと思いました。

●若い人があまり政治に興味を持っていないということ確かに身の周りでも選挙の話はあまりしていないなあと思った。家族と少し話をしてみたい。

●20代前後の人達の選挙に行く人数がどの年代よりも少なかったこと。政治に少しでも興味を持てば思いや考えが変わるのかなと思いました。

## 宮城県宮城野高等学校

3年生

6月14日

参加者数・275名

●20代の投票率が3割、70代以上の投票率は7割というのには驚きました。私は4月に18歳になったので、絶対に投票に行こうと思っていたので、せっかく投票権を持っていて自分の意見が政治に反映されるのに投票しないのはもったいないと



●18歳選挙権の国が意外にたくさんあったのが驚いた。そして日本が20歳で遅れていたというのも初めて知った。高齢者と若者の投票率の差が圧倒的すぎて、18歳に選挙権が下がるのも納得

●私はきちんと投票所に行つて、自分の意見を投票したいです。

●18歳選挙権の国が意外にたくさんあったのが驚いた。そして日本が20歳で遅れていたというのも初めて知った。高齢者と若者の投票率の差が圧倒的すぎて、18歳に選挙権が下がるのも納得

だなどと思っただし、逆に18歳に下げたからといってちゃんと投票率は上がるのかな?と思っただ。だからこそ自分たちが選挙を意識を向けて、参加していかないとダメだと思った。選ばれた代表者がどんなことをしても、それを選んだ私たちに責任があるので、文句だけ言ってるんじゃない、しっかり考えて投票などできるようにしたい。

### 宮城県涌谷高等学校

3年生

6月29日

参加者数・129名

●東北地方には民主主義に大きく関わった人が多くいたことについて驚いた。授業などで習った、原敬さんなどが東北出身だったとは思いませんでした。自分も今年18歳になるので、政治のことなどについてもっと調べ、理解していかなければいけないと感じた1時間でした。(佐野 匠さん)

●私が今回の講話を聞いて感じたことは、政治家だけが悪いのか、ということですが皆は「政治家が悪い」「政治家を辞めさせよう」とい



う考えが多い中、私は「一般人の私たちは何もしていない」といったら違うのではないか」と考えました。確かに、政治で使うお金は自分の欲求のためだけに使うことは良いことではありません。しかし、私達がその人を選ぶわけです。確かに最初はそういう人だとは分かっているからというのもありませんが、私達ももっと、国と政治について深く考えなければならぬのは事実です。人を責めることはとても簡単ですが、私達ができること、考えなければならぬことを改めて見据えなければならぬ、この講話を聞いて思いました。私は18歳になったので選挙ができます。今回、選挙する際は私自身も積極的

に参加したいと思えます。

(田中美澄さん)

●投票する権利が私達にも与えられて思ったことがあります。なぜ今の若者は投票へ行かないのか、そして高齢者の方々が投票に積極的に行くかということですが、その答えは簡単で、若者は誰がなっても同じと思っっているから。高齢者の方々は自分の意見をしっかりと持ち、こうしてほしい、こう日本があるべきだと心の中に決めているから、その考えにあったことを言っている政治家に入れば良いだけなので、投票率が高いのだと思います。なので私達若者もこれから日本がどうあるべきか考えていくだけでも投票率が上がると思います。(菊地拓也さん)

### 宮城県若山高等学校

3年生

11月15日

参加者数・89名

●今回の講座では、民主主義がどういうものか、なぜ選挙が必要なのか、政治家の仕事は何なのかなどたくさんを知ることができました。吉野作造の民本主



義と、リンカンの演説がとてもよく似ていて驚きました。また、東北は民主主義を進めたときに活躍をした人が多く、少し誇らしく感じました。せっかく18歳から投票ができるようになったので、もっと周りの人にも呼び掛けて投票者数を増やし、積極的に社会の出来事に参加したいと思いました。アンネ・フランクや吉野作造が言うように、無関心をやめ、責任感をもって大事な一票を投票しようと思います。(曾根かえでさん)

●今回の講座で有権者として改めて考えることができました。私も有権者となり7月に行われた参議院議員選挙で投票に行きました。家

族にもアドバイスをもらい、政策についてよく読み、自分の考えと合うような候補者・政党に投票しました。まだ、投票に慣れていない18歳の私たちに、政党の政策について考えるのは少し難しいところがあると感じました。講座では、東北は民主主義を進めるために活躍した人が多く、吉野作造は民本主義を唱え、それがリンカンの演説の内容と似ているところがあったこと、当時の主張は大きな影響を与えたことを学びました。そして、身近な社会問題は、ルールなどを作ることで解決の近道になるといったこと、民主主義は一人一人が責任を分かち合いよりよい社会を作っていくことなどを改めて学べました。無関心であるとは良くないことあるため、新聞やニュースを見て、地域活動、ボランティアや様々な問題について考えていこうと思えました。(石塚 優さん)



宮城県仙台第二高等学校

1年生

平成29年1月19日

参加者数…320名



● 今回の講演会で印象に残ったのは、若者の投票率についてと、民主主義において私たちがするべきことについてです。投票率のお話では、投票率が60代は70%を超えているのに対し、20代は40%にも満たないと聞き、驚きました。さらに、高齢者の投票率が若者の投票率に比べて高いため、政策も高齢者に適したものが増えること知り、若者が選挙で投票することの重要性に改めて気付かされました。また民主主義についてでは、す

べての人を満足させることは不可能であるから、出来るだけ多くの人が満足できるように十分な話し合いの場を設けることや、地域でのボランティア活動や選挙などを通じて社会に興味・関心を持つことが大切だとおっしゃっていて、自分でも出来ることを少しずつやっていこうと感じさせられました。

(今野まいいさん)

● 選挙によく行く世代の要求が達成されやすいという状態と、若者の選挙離れは相互に負の影響を及ぼしていると思う。もともと若者の投票率が低いために政治が中高年優先の方向に流れ、ないがしろにされた気持ちになった若者たちが選挙に行かなくなり、ますます投票率が低下していく…という具合に。どこかでこの流れを断ち切らなければいけない。その点で、私たちの世代はチャンスを与えられていると思う。今回の講演会のような機会がもっと増えて、若者がまた選挙に行き始めれば、政治家たちも若者の票を無視できなくなり、若者が得をするような政策をとり始めるだろう。そうやって今度はプラスの

連鎖が起きれば、もうシチズンシップ教育すらいらなくなるのではないかと。それが本当のゴールだと思った。(會順理々香さん)

宮城南郷高等学校

2年生

平成29年2月16日

参加者数…69名



● この授業のおかげで、選挙についての知識が全く無かった私でも、選挙を深く知ることができ、有権者になると言う実感が湧いてきました。来年度からは、私達も国をつくる一員となり、自分達でリーダーを決める投票に参加するので、国が悪くならないような投票ができたらいと思うことが

できました。

(星塚夢羽さん)

● 18歳になるにあたって、自分達には選挙権が与えられます。今まではそんなに選挙について難しく考えたことはなかったのですが、今日、政治について知る機会をつくっていただいて、他人事ではないんだなと思いました。国の方向性を決める大事な権利が与えられているので、国のルールをよく知り、誰が国のためになるのかを考えなければいけないと思います。

(佐々木龍真さん)

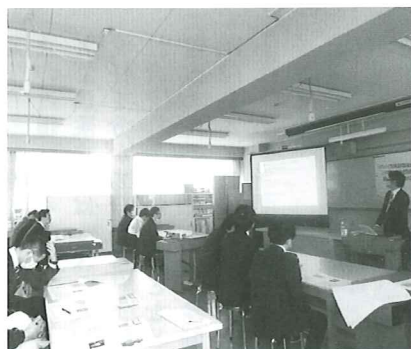
● 私は、今回の講話をきいて選挙について知ることができました。今は選挙に行く人は若い人よりも60代以上の人が多いことを知り、もっと若い人が選挙に行かないといけないんだと思いました。また、選挙では若い人の一票が大切なんだと知ることができました。私も、今年から選挙権を持つ年齢になりました。この講話を聞いて、選挙があったら投票に行きたいと思いました。

(小原亜衣さん)

宮城県名取高等学校  
シティズンシップ  
教育推進事業校内研修会  
教員対象

平成29年2月24日

参加者数…39名



シティズンシップ教育推進事業の一環として、特に名取高校で進めている消費者教育等と関連させながら、主権者教育をどう進めていくかをテーマに、「期待される若者の政治参加」と題して同校の先生を対象に講話を行いました。

主権者教育や民主主義に関する基本的な理念や考え方や、震災復興や貧困問題といった生活に関する事柄、吉野作造をはじめとする宮城県発の民主主義の歴史など、主権者教育に活用できる様々な素材を提示しながら紹介しました。



平成28(2016)年度

# 吉野作造記念館利用状況

入館者・利用者数

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

# 15,627名

(歴代最多)

出前講座 2,920名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,381	1,518	2,357	953	878	1,681	1,041	1,280	1,350	1,583	895	710

吉野作造記念館 開館からの入館者推移



平成28年度 会場使用料 (講座室173件・研修室172件)

(単位：円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
49,680	24,000	24,240	78,060	45,060	53,580	51,600	49,200	41,820	121,140	60,960	45,060

平成28年度 物品販売

(単位：円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
15,820	15,890	37,000	21,530	41,196	46,964	31,410	30,250	12,140	11,690	12,328	35,134

## メディア等での 記念館紹介

(平成28年4月1日～  
平成29年3月31日)

# 61件

### おもなメディアでの紹介

2016.5.10	NHK 「ひるはび みちのくヒーロー知る之助」
2016.6.4	読売新聞 「選挙知識、心構え 仙台三高生学ぶ」
2016.7.1	毎日新聞 「デモクラシーの暮らし紹介」
2016.9.16	大崎タイムス 「大崎市 高齢者対象「脳トレ塾」」
2016.10.28	河北新報 「安中教会との交流紹介 吉野作造記念館で企画展」
2016.11.11	大崎タイムス 「吉野作造史料文化財指定へ」
2016.12.23	大崎タイムス 「子どもを地域で育てる 古川で市民フォーラム」
2016.12.25	朝日新聞 「企画展「自由を愛し、平和を貫く」吉野と柏木義円」
2017.2.11	朝日新聞 「吉野作造の遺品展 人柄や交友伝える」

### 平成28(2016)年度吉野作造記念館事業へボランティア協力をいただいた皆さま

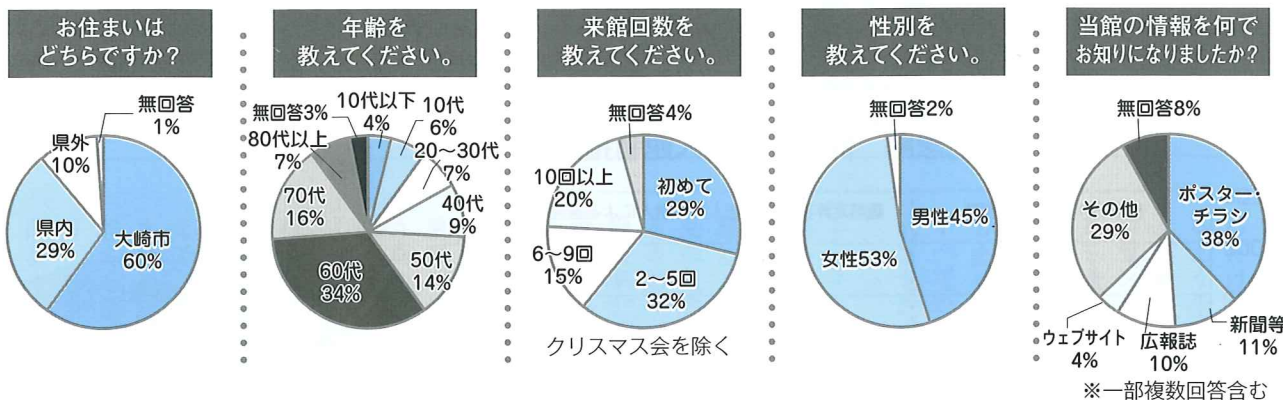
宮城誠真短期大学の皆様、二郷 成子様、真・文芸保育士リテラクリーガー様、  
古川高等学校合唱部の皆様、大崎市図書館の皆様、サークル「カリヨン」の皆様、  
ふみ&どん様、古川女声合唱団アイリスの皆様、K Y様、コール・ママンの皆様

心より御礼申し上げます

平成28(2016)年度 吉野作造記念館 アンケート集計結果のご紹介

平成28年度に実施したアンケート内容の一部をご紹介します。  
 当館では常時ご意見・ご感想等を受け付けておりますので、お気軽に声をお寄せください。

●集計数 **488名** (内訳：企画展、講座、GW イベント、クリスマス会、各種講演会) ※平成29年3月20日時点



お客様からのご意見・ご要望および改善・対策 ※抜粋

見学やイベントに参加してみたのご感想	
●一人ひとりの説明が分かりやすく書かれていて、その人を知ることができました。また、隣に写真や絵などがありより分かりやすくなっていました。…………… (オライの宝展)	
●孫たちと一緒に来ましたが楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。…………… (GWイベント)	
●生協が吉野作造さんと大きく関係があったことに驚きです。戦後の物資不足の中でも、暮らしを向上させようとする気持ちを強く持った人々…私も頑張って暮らしを向上させたいと思います。…………… (前期企画展)	
●鳴子温泉の帰り古川駅前で「吉野作造記念館」があることを知りました。民主主義や立憲主義が侵される今日、大正時代から先生の思想の深さに感動しました。…………… (常設展示)	
●「吉野作造」名前は知っていましたが、こんなに素晴らしい方ということを知りました。多くの方に影響を与えた方ということに心に留めたいと思います。…………… (後期企画展)	
●アットホームな感じの生誕記念、吉野先生も楽しんでいることと思います。…………… (生誕記念イベント)	
●当地では、このような展示や講演会が少ないので大変刺激されています。是非継続して開催されて地方に住む私共をお導きください。…………… (年度末はがきアンケート)	
お客様のご要望に対する改善について	
<b>【駐車場について】</b>	
●高齢者ですが、駐車場が遠いのはなぜですか？もっと近くで車を止められると良いのですが？…………… (見学・各イベント)	☞ 駐車場が離れておりご迷惑をおかけします。高齢者・障がい者用の駐車場が裏側通用口にごございますのでご利用ください。なお、大崎市担当課には要望を提出し、協議中です。
●駐車場が混んでいて駐車するのが大変でした。…………… (GWイベント)	☞ 荒雄公園イベントと重なったことで、駐車場が満車となりご迷惑をおかけいたしました。事業を開催する際は、十分な駐車場の確保を前提として日時を決めてまいります。
<b>【展示室・コンサート会場について】</b>	
●展示室の電気が少し暗くて、観づらかったのが残念です。電気を明るくしてください。…………… (オライの宝展)	☞ 資料等の保存管理のため、適正な明るさにさせていただきます。
●コンサートを聴くには、ほど良い明るさですが展示物を見るには暗いのでは？…………… (チェロコンサート)	☞ コンサート開催時の照明については、先生の希望によりあえて室内を暗くしました。
●会場のイスに、手荷物を掛けるフックを取り付けてほしい。…………… (チェロコンサート)	☞ 今後、イスの下または足元に手荷物専用カゴをご用意いたしますのでご利用ください。
<b>【広報について】</b>	
●素敵な企画なので広報をしっかり行い大勢の人に来て欲しい。…………… (生誕イベント)	☞ 同様のご意見を数多くいただいております。多くの皆さまにご参加いただけるよう今後も広報活動を強化してまいります。
今後して欲しい企画について	
●県内や東北の歴史を聞きたいです。	
●県内(東北)に関する方々(作家・芸術家)などの企画展示をお願いします。	

# 平成28年度の記念館関係行事・出前講座一覧

※NPO法人古川学人事業→P14

平成28年(2016年)	1/10~2017/1/7	ミニ企画展「民本主義」100年	14,581名
	4/18	古川中学校開校記念講演会 (講師:大川真当館館長、会場:古川中学校)	190名
	4/24	「1から学ぶ!吉野作造入門講座」 (講師:小嶋翔当館研究員)市民大学講座①	13名
	5/5	GWイベント	873名
	5/21	ローターアクト第40回地区年次大会記念講演 (講師:大川真当館館長、会場:芙蓉園[大崎市古川])	107名
	5/29~8/7	前期企画展「暮らしの向上を求めて」	1,612名
	5/29	前期企画展オープニングシンポジウム「地域の中で 子どもの暮らしを考える」(パネリスト:門馬優氏、千 葉繁美氏、千島優子氏ほか)市民大学講座②	30名
	6/11	日本文芸研究会シンポジウムで大川真当館館長が報告 (会場:カレッジプラザ[秋田市])	30名
	6/11・25	歴史講座「伊達政宗と大崎ゆかりの家臣たち」全2回 (講師:佐藤憲一氏)市民大学講座③	計63名
	6/29~7/1	職場体験実習(古川中学校)	3名
	7/31	第5回吉野作造研究賞 論文募集締切	
	8/23~12/28	ミニ企画展「とと姉ちゃん」と「暮らしの手帖」	5,184名
	8/24	大崎法人会役員研修会(会場:鳴子観光ホテル[大崎市鳴子])	32名
	9/2~9/4	第10回古野ネットワーク人材育成研修会	計141名
	9/2	人材育成研修会基調講演会(講師:猪木武徳氏)市民大学講座④	67名
	9/9	講演会「世界文脈における明治維新」(講師:三谷博氏)	47名
	9/13~9/17	博物館実習	3名
	9/22	白梅会(古川黎明中学・高校同窓会)三本木支部交流会 (会場:吉野作造記念館)で大川真当館館長が講演	20名
	10/1	日本政治学会大会で大川真当館館長が報告 (会場:立命館大学大坂いばらきキャンパス[大阪府茨木市])	43名
	10/9~12/28	後期企画展「自由を愛し、平和を貫く—吉野作造と安中教会」	1,688名

	10/15	後期企画展記念講演会(講師:宮田光雄氏) 市民大学講座⑤	79名
	10/16	「1から学ぶ!吉野作造入門講座(2)」 (講師:小嶋翔当館研究員)市民大学講座⑥	14名
	10/30	吉野作造「民本主義」提唱100年を記念し、吉野先生を 記念する会が記念館前広場にシラレザクラ植樹	
	11/13	最終講座「吉野作造の平和思想」 (講師:大川真当館館長)市民大学講座⑦	25名
	11/18	古川中学校ドリームキャリアセッションにて大川 真当館館長が講話(会場:古川中学校)	13名
	11/20・12/4	映画「弁護士 布施辰治」 ※NPO法人古川学人事業 市民大学講座⑧	
	11/24	古川中学校自主公開研究会にて大川真当館館長が報告	215名
	11/25	おおさき青年会議所シニアクラブ講演(講師:大川 真当館館長、会場:古梅荘[大崎市古川])	35名
	11/26	日本生協連資料室土曜講座(講師:大川真当館館 長、会場:主婦会館[東京都千代田区])	17名
	12/15	長命大学講座(講師:大川真当館館長、会場:長命ヶ 丘市民センター[仙台市泉区])	96名
	12/18	クリスマス会	470名
平成29年(2017年)	1/8~3/31	ミニ企画展「白熱講演~吉野作造記念館の講演会~」	2,573名
	1/24	記念講演会(講師:大川真当館館長、会場:日本キリ スト教団安中教会[群馬県安中市])	18名
	1/28	吉野作造生誕記念イベント(ロクティム公演)	109名
	1/29	吉野作造生誕記念イベント(生誕記念コンサート)	107名
	2/1~2/28	吉野作造記念館所蔵資料 大崎市文化財指定記念展	757名
	2/4	後藤彰信氏著「石川三四郎と日本アナーキズム」書 評会(会場:吉野作造記念館講座室)	8名
	2/28	宮城いきいき学園大崎校での講座(講師:氏家仁当 館職員、会場:大崎生涯学習センター)	30名
	3/26	西古川地区振興協議会総会記念講演(講師:小嶋翔 当館研究員、会場:西古川地区公民館)	30名

## (平成28年3月~平成29年2月) 寄贈資料一覧

多くの皆様のご厚意により貴重な資料をご寄贈いただいております。厚く御礼申し上げます。順不同「敬称略」

後藤 齊「西洋人日本語研究に関する吉野作造の論考」(東北大学言語学論集) 別刷	後藤 齊氏
「図書」804号(2016年2月)	若波書店
西尾林太郎「大正デモクラシーと貴族院改革」	西尾林太郎氏
「憲政の本義 吉野作造デモクラシー論集」	中央公論新社
「Voters」Vol.31~36	明るい選挙推進協会
「(霊性)と(平和)」創刊号(2016年3月)	片岡 龍氏
仙台公民館発行「宮城県郷土かるた」(復刻版)	杉村 翠氏
「現代の理論」改題1号(2016.6)	NPO現代の理論・社会フォーラム
「小泉信三全集」全28巻中23冊	佐々木源一郎氏
後藤彰信「石川三四郎と日本アナーキズム」ほか1点	後藤 彰信氏
20世紀デザイン切手(第3集)	鈴木佳奈子氏
広岡守穂「近代日本の心象風景」ほか1点	広岡 守穂氏
「吉野作造通信」第17号・18号	永澤 汪恭氏
井上ひさし「ブラウン監獄の四季」(河出文庫版)	井上事務所・河出書房新社
加藤陽子「戦争まで—歴史を決めた交渉と日本の失敗」	朝日出版社
「郷土たじり」第38号	齋藤 強一氏
「新・日本学誕生 国際日本文化研究センターの25年」	瀧井 一博氏
「平成28年度版 わたしたちの宮城県」	宝文堂ブックサービス
「史跡佐貫石仏保存活用計画」ほか1点	関塚 英一氏
辻貴之「憲法9条信者」が日本を壊す	川村 栄三氏
宮下和裕「国民健康保険の創設と筑前(宗像・鞍手)の定札」ほか12点	宮下 和裕氏
「第6回南原繁シンポジウム」関係資料ほか	伊藤 義夫氏
「服部英太郎著作集」全8巻ほか2点	佐藤 宏氏
千葉昌弘「高知県における自由民権運動と教育」(抜刷)ほか6点	千葉 昌弘氏
「暮らしの手帖」96 特集「戦争中の暮らしの記録」	伊藤千恵子氏
「公立博物館における指定管理者制度の調査研究」ほか1点	金山 喜昭氏
宮城県志津川高等学校(編)「東日本大震災の記録」	宮城県志津川高等学校
淡路明子「立憲主義と自由教育のために—新島襄とその弟子— 柏木義円・磯貝雲峰」	淡路 明子氏
森富・阿部武彦・渡辺善雄「鵬外全集」の誕生—森潤三郎あて与謝野寛書簡群の研究—	渡辺 善雄氏
「宮田光雄思想史論集」(全8巻)ほか2点	宮田 光雄氏
「台大日本研究中心 Newsletter (NTUCJS Newsletter) No.3」ほか12点	大川 真氏
「みちのく春秋」	井上 康氏

# 「民本主義」100年、その意義を問い直す

10月1日 ○日本政治学会2016年度大会で大川真館長が報告

立命館大学大阪いばらきキャンパス（大阪府茨木市）にて開催された日本政治学会2016年度大会で、分科会「『民本主義』再考」が開催されました。当館の大川真館長は「吉野作造の代表制論」というテーマで報告しました。その他の報告者およびテーマは次の通りです。



- 司会 小川原正道氏（慶應義塾大学）
- 報告 尾原 宏之氏（立教大学）……………「右から見た吉野作造」  
趙星銀氏（日本学術振興会外国人特別研究員PD）  
……………「大正デモクラシーと戦後民主主義—「大衆」の問題を中心に—」
- 討論 苅部 直氏（東京大学） 千葉 眞氏（国際基督教大学）

参加者：43名

## 大川真館長報告要旨 「吉野作造の代表制論」

吉野作造が「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」（以下、憲政本義論文と表記）を『中央公論』に発表してから2016年でちょうど100年となる。憲政本義論文の発表により、吉野は名実ともに大正デモクラシーの旗手となった。また憲政本義論文をはじめとする吉野の政論は、選挙権拡大の機運を醸成し、1925年の普通選挙法成立に向かう流れに棹を差した。ただし一般には「吉野の唱えた民本主義は国民主権を謳っておらず戦後民主主義からすれば未熟・不十分なものにすぎない」という程度のイメージしか持たれていないのが現状である。

そうした通念を一蹴するためにも、本発表では、吉野作造の民本主義を形成史的な観点から論じつつ、民本主義の提唱当時から実は「一周した代表制論」を吉野が説いていたことを明らかにしていく。1916年の憲政本義論文において吉野は、選挙を人格主義的な発想から論じていたが、民本主義の再考論文で

ある「民本主義の意義を説いて再び憲政有終の美を済すの途を論ず」を『中央公論』で1918年に発表して以降は、レオン・ブルジョワなどの社会連帯説を選挙権の根拠として提唱していくようになる。さらに重要なのは、憲政本義論文の発表時において吉野は代表制の危機をすでに指摘していることである。当時日本でも勃興していたサンジカリズムに対して吉野はその政治運動が本質的には「代表の名に惑うて安心するの危険を絶叫し、議会によつて自家階級の目的を達せんとするの思想を断じて排斥すべきものなり」と叫ぶものであったと喝破していた。吉野自身も一定のシンパシーを感じていたサンジカリズムやギルド社会主義に対してだけではなく、また20年代後半では日本でも支持者が増え始めた独裁制ないしは民主集中制に対しても、吉野は一貫して代表制の有効性を唱え続けたのであった。

吉野の民本主義はじつに代表制擁護論に他ならないのである。

## 吉野作造記念館

〒989-6105 宮城県大崎市古川福沼1-2-3

TEL 0229-23-7100  
E-mail yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp  
URL http://www.yoshinosakuzou.jp

利用案内	開館時間	9時～17時(入館は16時30分まで)			
	入館料	区	分	常設展	企画展(常設展含む)
				個人	団体(20名以上)
		一般	310円	250円	500円 400円
		高校生	210円	160円	300円 200円
	小・中学生	100円	80円	200円 100円	
休館日	月曜日(月曜日が祝祭日の場合は翌日が休館日) 年末年始(12月29日～1月3日)				

### 平成28年度 YOSHINO サポーター

<p>若見自動車</p>	<p>株式会社 佐藤酸素</p>	<p>株式会社 北都開発</p>	<p>ふるしん 古川信用組合</p>	<p>株式会社 美研</p>
<p>MURATA CORPORATION</p>	<p>ベントリー宮城古川店</p>	<p>WAGATUMA.K.K 我妻建設(株)</p>	<p>やれぱでずる 内藤印刷有限会社</p>	<p>隣人愛に燃え、実践を志す</p>
<p>株式会社共同システムサービス</p>	<p>あ・ら・伊達な道の駅</p>	<p>総合建設業 株式会社 アクセス</p>	<p>株式会社 中治呉服店</p>	<p>仙台 YAKINKU-HOUSE</p>
<p>古川ガス株式会社</p>	<p>書道教室 遊山社</p>			